

北陸技術交流テクノフェア 技術プレゼンテーション

研究機関、大学、企業の技術シーズが一堂に集結。新たな事業化、製品化の素材を一挙に披露！

10月19日(木)

場所：福井県産業会館1号館内特設ブース

定員：各20名 受講料：無料

繊維 編、医療 編

⑤ A ⑥ 会 ⑦ 場 ②② 会 場	<p>13:00～13:20 繊維 東レ(株)</p> <p>東レグループの自動車への取り組みと 今後の材料開発について ～東レ素材適用事例と開発動向～</p>	<p>■ 特に受講いただきたい方 ■</p> <p>自動車産業に携わる企業の設計者、 材料担当者</p>
	<p>東レは日系自動車メーカーを中心とする急速な技術革新、自動車産業を取り巻く環境変化を大きなビジネスチャンスととらえ、2006年1月1日に社長直轄組織として自動車材料戦略推進室（略称：自動車戦略室、以下略称を使用）を設立し、活動を開始しました。自動車戦略室の概要説明を行い、東レ素材の適用事例、開発動向、今後の方向性について説明します。</p>	
	<p>13:20～13:40 医療/繊維 福井大学</p> <p>キトサンのナノ繊維利用人工皮膚開発に関する研究 ～より快適で高い創傷治療促進性素材～</p>	<p>■ 特に受講いただきたい方 ■</p> <p>医療材料、製薬関係、繊維加工関連</p>
	<p>キトサン等のナノ繊維作製の電界紡糸装置の試作とこれを用いて作製した人工皮膚の性能評価をマウス使用動物試験により行った結果を報告する。</p>	
	<p>13:40～14:00 医療 金沢大学</p> <p>骨折の治療を促進する創外固定機器の開発 ～力学解析モデルと動物用創外固定器の作成～</p>	<p>■ 特に受講いただきたい方 ■</p> <p>医療機器、計測器、整形外科機器メーカー</p>
	<p>骨折の治療を促進し治療状況を正確にモニタリングできる創外固定機器の開発を目的に研究を行った。治療モニタリングには骨折部における力学的特性の回復度を評価する必要があるが、そのための力学解析モデルを作成した。また、骨折治療を促進する力学刺激条件を検討するための動物実験用創外固定器を作成した。創外固定器の力学解析モデルとその応用、および製作した動物実験用創外固定器について紹介する。</p>	
	<p>14:00～14:20 繊維 (株)カドコーポレーション</p> <p>JAXA/VaRTMを用いた 低コスト複合材主翼構造の製作 ～製造技術の概要説明～</p>	<p>■ 特に受講いただきたい方 ■</p> <p>F R P 成形加工等の技術者及び研究者</p>
	<p>本研究は、小形旅客機の後継機や派生機などへ適用できる、複合材技術の開発を目的としている。複合材を採用することで航空機構造の重量軽減を図る事は既に行われつつあるが、従来のアルミ構造に比べて高コストとなる点で中・大型旅客機の主翼構造に大幅に適用して実用化された例はまだない。本研究では、航空機用構造に適用するために繊維含有率 (Vf) を高めつつ品質を安定させる改善を行い、VaRTM 製造法による型式証明取得の課題を明確にする事を目的としており、本発表では同プロジェクトの製造技術に関する概要について発表する。</p>	

《お申し込み・お問い合わせ先》 技術交流テクノフェア実行委員会

事務局：福井商工会議所 産業技術課 〒918-8580 福井市西木田2-8-1

TEL0776-33-8284 FAX0776-33-8288 info@technofair.jp



北陸技術交流テクノフェア 技術プレゼンテーション受講申込書

FAX 0776-33-8288

事業所名			TEL						
			FAX						
住所	〒 -								
受講者名					受講者名				
受講番号	⑤	⑥	⑦	②②	受講番号	⑤	⑥	⑦	②②

受講希望の番号に○印を付けて、お申し込みください（複数受講可）

※ご記入いただいた内容は、主催者及び福井商工会議所からの各種連絡・情報提供のために利用させていただくことがあります。